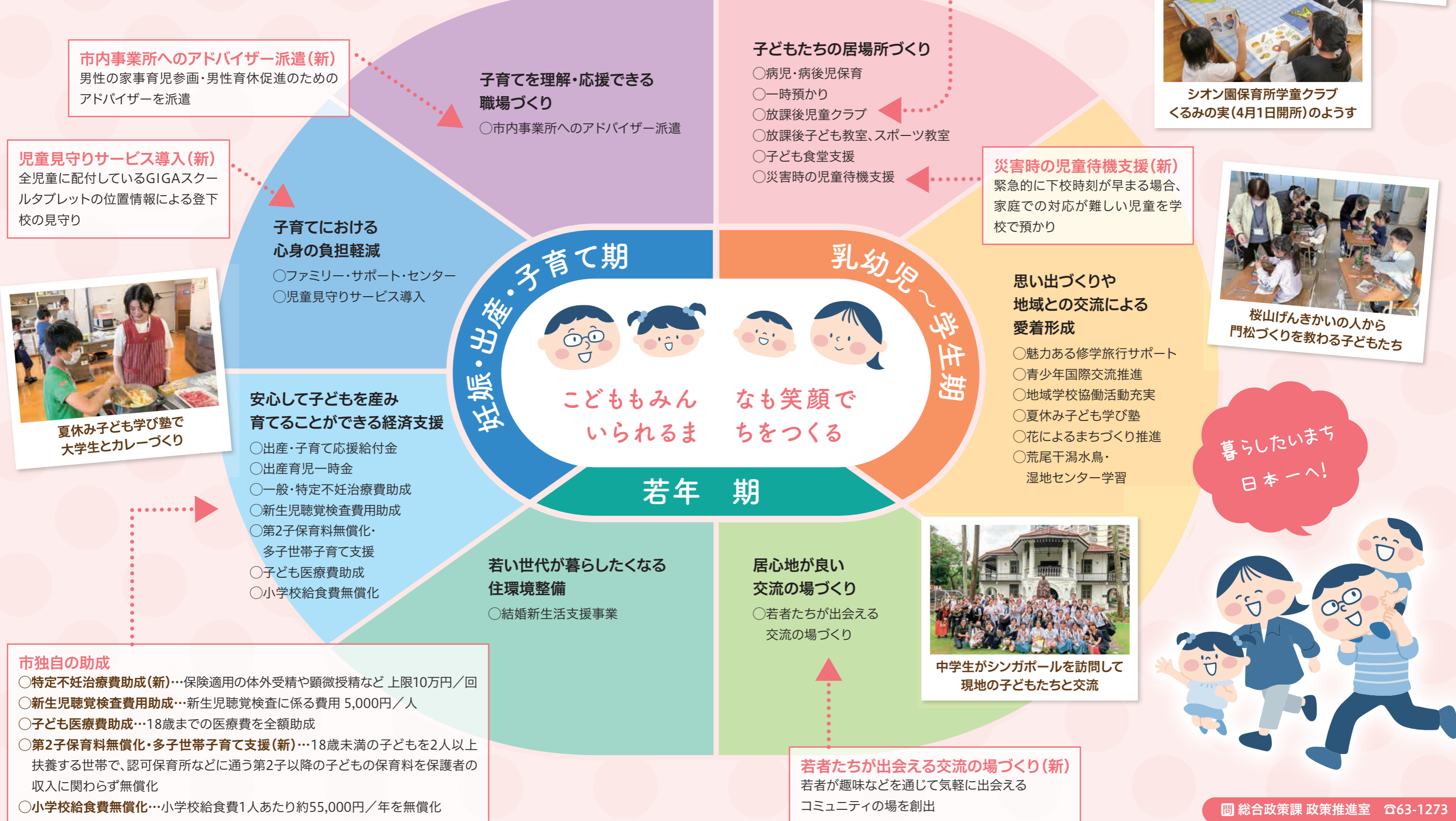


# 荒尾市は「少子化対策」に 力を入れて取り組みます!

市では、出生数がここ数年で激減していることを受け、まちづくりの計画である「総合計画」を改訂し、少子化対策の取り組みを明確化しました。  
今年度の主な取り組みをご紹介します。



**市内事業所へのアドバイザー派遣(新)**  
男性の家事育児参画・男性育休促進のためのアドバイザーを派遣

**児童見守りサービス導入(新)**  
全児童に配付しているGIGAスクールタブレットの位置情報による登下校の見守り



夏休み子ども学び塾で大学生とカレーづくり

**放課後児童クラブ(拡充)**  
○中央小学校校区ではシオン園保育所内に新設  
○万田学童クラブと清里小放課後児童クラブの定員増加



シオン園保育所学童クラブ くるみの実(4月1日開所)のようす

**災害時の児童待機支援(新)**  
緊急的に下校時刻が早まる場合、家庭での対応が難しい児童を学校で預かり



桜山げんきかいの人から 門松づくりを教わる子どもたち

**市独自の助成**  
○特定不妊治療費助成(新)…保険適用の体外受精や顕微授精など 上限10万円/回  
○新生児聴覚検査費用助成…新生児聴覚検査に係る費用 5,000円/人  
○子ども医療費助成…18歳までの医療費を全額助成  
○第2子保育料無償化・多子世帯子育て支援(新)…18歳未満の子どもを2人以上扶養する世帯で、認可保育所などに通う第2子以降の子どもの保育料を保護者の収入に関わらず無償化  
○小学校給食費無償化…小学校給食費1人あたり約55,000円/年を無償化

**若者たちが出会える交流の場づくり(新)**  
若者が趣味などを通じて気軽に出会えるコミュニティの場を創出



中学生がシンガポールを訪問して 現地の子どもたちと交流

暮らしたいまち 日本一へ!

